

第 15 回みどりの食料システム戦略本部 概要

1. 日時：令和 6 年 12 月 27 日（金）10:31～10:40
2. 場所：農林水産省 第 1 特別会議室
3. 出席者：江藤農林水産大臣、庄子農林水産大臣政務官、山本農林水産大臣政務官、渡邊事務次官、渡邊農林水産審議官、長井官房長、山口総括審議官、宮浦総括審議官（新事業・食品産業）、堺田技術総括審議官兼技術会議事務局長、谷村危機管理・政策立案総括審議官、西大臣官房審議官（技術・環境）、小林新事業・食品産業部長、深水統計部長、大島検査・監察部長、安岡消費・安全局長、森輸出・国際局長、松尾農産局長、松本畜産局長、杉中経営局長、前島農村振興局長、青山林野庁長官、藤田水産庁次長、安東関東農政局長、小峰報道官、川本秘書課長、望月文書課長、高橋予算課長、河村政策課長、八百屋広報評価課長、福島地方課長、佐藤環境バイオマス政策課長、澤瀬デジタル戦略グループ長、久保みどりの食料システム戦略グループ長
4. 概要：堺田技術総括審議官より、みどりの食料システム戦略に基づく取組の進捗状況について説明があった。次に、庄子政務官、山本政務官より発言があり、最後に、大臣から締め括りの御発言があった（大臣からの締め括りの御発言時のみカメラ撮りあり）。

【締め括りの御発言】

（江藤大臣）本日の報告で、みどり戦略の策定から 3 年半の進捗状況を確認できた。2030 年及び 2050 年の目標を達成するためには、現場の生産者の方々のご理解をいただきながら、生産者の皆様が、夢と希望を持って取り組むことができる環境を整えることが必要。有機農業の拡大や化学肥料・化学農薬の低減を後押しする新たな環境直接支払交付金の創設をはじめとした、効果的な支援策を検討いただくようお願いしたい。また、2050 年ネットゼロの実現に向け、我が国が有する食料安全保障にも資する温室効果ガス削減技術を来年の COP30 等で発信し、世界に展開することを検討してほしい。みどり戦略の実現に向けて、現場主義を貫き、省一丸となって取り組んでいただきたい。本部長である私自身も、現場の方々の声にしっかり耳を傾け、先頭に立って、進めていきたい。

（以上）